

平成24年
4月号

桂台地域ケアプラザが

地域交流プログラム

発行日／平成24年4月1日
編集・発行／横浜市桂台地域ケアプラザ
発行責任者／石塚 淳

お問い合わせ先

地域交流部門 897-1111

HPアドレス

<http://www.katsuradai.com>

桂台 支えあい連絡会

検索

あの震災からもう1年が過ぎ、1年たった今の被災地の現状が連日報道されています。そんな折に、ある職員がこんな話をしてくれました。「先日、気仙沼に家族3人でボランティアに行ってきました。自分が得意な音楽でボランティアができないかな？と思いたち、最初は現地の役所や社協に紹介してくれませんか？と頼んだのですが、なかなか紹介してもらえません。御迷惑かな？とも思ったのですが、インターネットで現地の老人施設を探し出し、思い切って音楽ボランティアをさせていただけないか？頼んでみました。そうしたら、すんなりOKがでて、勇気を出して行ってきました。いつものデイサービスでやるプログラムと違って最初は緊張しましたが、だんだんいつもの感じになってきて最後はみんな笑顔！ 帰り際には次の約束をして帰ってきました」

災害が起こった当初に比べ、今はボランティアが激減しているという話も聞きますが、今もさまざまな支援が必要な状況があります。また災害発生の当初とは現地で必要としていることも変化しています。ボランティアを希望する人のできる事と現地の方が希望することがうまくつながることが大切ですが、自分のできる事をよく考え、現地の方たちにとってどのように役に立つかを吟味し、そしてアクションを起こしてみる。報告を聞いて、そんなことを改めて、みんな考える事が大事！と思いました。

4月の おしらせ

龍先生の健康相談

協力医：龍 覚先生(上郷医院 院長)

日時：平成24年4月13日(金)、27日(金)
13:30~15:00

場所：桂台地域ケアプラザ 相談室

ケアプラザ協力医の龍先生による無料の健康相談を下記日程で行っています。

身近な病気の相談など丁寧に対応してまいります。

(予約優先)

桂台スペシャルデイの お知らせ

桂台地域ケアプラザデイサービスでは、利用者さんへ日頃の感謝を込めて、月に一回「桂台スペシャルデイ」を企画しています。毎月毎月素敵なプログラムを企画していますので、地域の皆様も是非、足をお運び下さい。ご希望の方は、桂台地域ケアプラザまでご連絡下さい。

日時：平成24年5月19日(土)
14:00~15:00

内容：～SB合唱団♪～

若々しい学生達(合唱部)の元気なパフォーマンス、そして素敵な歌声をお楽しみください。

場所：桂台地域ケアプラザ
デイルーム



ベビーマッサージの おさそい

ママの手は魔法の手…

安心してママを見つめるつづらなひとみ…

親子の絆が深まる大切な瞬間です

パパもいっしょにぜひご参加ください

日時：4月27日(金) 10:30~12:00

場所：2F多目的ホール

募集：ハイハイ前の乳児さんと

保護者10組(定員次第締切)

参加費：1組300円(オイル代)

申込み：桂台地域ケアプラザ

TEL897-1111



活動の芽吹きを感じて 「若年性認知症・栄のつどい」報告

11月号で『若年性認知症の家族・本人のつどいに参加して』という記事を掲載したところ、あちらこちらで若年性認知症の事が話題にのぼる回数が増えてきました。「こんな場所がほしいね」と相談を受ける地域包括の職員の間でも声が出ています。実を言えば、これまでは、若年性認知症の方たちの相談を受けても、実際には適切につなげるところがなく、私たちが苦しい思いをしていたのが実情です。こんな場所が栄区にもあったらなあと言うのが正直な思いでした。そんな思いを実現させるべく、半年前から準備を行いようやく立ち上がったのが『若年性認知症・栄のつどい』です。栄区内にある6館の地域ケアプラザ、栄区役所、認知症の人と家族の会神奈川県支部、そして介護サービス事業所が協力して2月26日（日）小菅ヶ谷地域ケアプラザで第1回目の会が開催されました。今月号は、その当日の様子をご報告いたします。

第1回目の『若年性認知症・栄区のつどい』は、本人と家族併せて20名の方が参加されました。初めての会と言う事もあり、スタッフもみなさんも最初は緊張感がありましたが、音楽スタッフのピアノ伴奏で1曲歌ったところから気持ちがほぐれてスタートしました。



ご本人とボランティアさんは、近所のスーパーにお弁当を買い出しに行きました。スタッフも合わせると総勢40名以上のお弁当を手分けして選びました。当日は日本各地のお弁当フェアが行われており（偶然です！）あれが良い、これが良いと楽しく選びました。

ご家族の皆さんは、ケアプラザに残って、お互いの日頃の悩みや気持ちを語り合いました。当日は、認知症の人と家族の会神奈川県支部の小林俊一氏も参加（若年性認知症の奥様を介護されている当事者です）され、介護している方ならではの貴重な一言を随所にいただきました。

皆さんのお話の中では、なかなか病気の原因が確定されず、若年性認知症と診断されるまでとても時間がかかったことや介護保険のサービスを受けてもまわりから「若いねえ」と言われ、ご本人が自分の居場所ではないように感じたというお話など、医療や福祉サービスにおいても理解が乏しい現状を改めて感じました。また、周囲の人たちにこの病気を理解してほしいという気持ちと説明して理解されるのだろうか？ という不安とがないまぜになった複雑な気持ちを抱えて、悩んでいる方が多いこともわかりました。

みなさんが溢れる思いを語り、そのお話を真剣に受け止めているうちにあっという間に時間が過ぎて行きました。

お弁当の時間はそれぞれ！ ご家族と一緒に食べる人も、ボランティアさんと食べる人も、ご家族同士でお話の続きを語り合う方もみな楽しくお食事ができました。



ご家族の皆様は、午後も語り合いました。最後の感想では、「こんな風に病気や介護のことを本音で話し合えてよかった」「介護する人自身が、深刻になりすぎちゃいけない。まあいいよって思えるのも大切」「このような機会をもてて、とても嬉しい」と話されました。また、口々に「この会を続けてほしい」とおっしゃっていました。

午後は、いたち川のお散歩コースを通って、スポーツセンターの1階にある「さんぼみち」へ移動しました。「さんぼみち」ではコーヒーとケーキをいただきながら、ミニ歌声喫茶で合唱をしました。最後は、花壇の前で記念撮影！ ご家族にお土産もできました。



まだはじまったばかりの会ですが、温かい気持ちがあふれる会になりました。ご本人たちの笑顔とともに、ご家族同士がお互いの話を真剣なまなざしで聞く姿が、心に残りました。本人もご家族も安心できる居場所の大切さを再認識しています。この栄区で芽吹いた新しい活動を継続していきたいと思います。この活動にご興味をもたれた方、また会に参加したい方などいらっしゃいましたら、地域包括支援センターにご連絡ください。(897-1111)

平成23年度 本郷中央地区協働福祉フォーラム 安全・安心で心豊かな街づくり

久しぶりの晴天に恵まれた3月3日（土）、本郷中央地区協働福祉フォーラムが開催されました。

会場となった本郷地区センターには、70名をこえる参加者の皆さんが集い、テーマである「安全・安心で心豊かな街づくり」について考える時間を持つことができました。



このフォーラムは、当ケアプラザの支えあい連絡会（各自治会町内会役員、地域の福祉活動に取り組んでいる方々および行政関係者等が連携した集まり）が主催し、地域ごとの特性や課題に対応した地区別計画の具体的な推進状況や、課題解決に向けての意見交換を行う場として平成18年より継続して行っているものです。

今回は、**1部：支えあい連絡会1年間のあゆみ**と題して、4つの分科会の活動報告を行い、続いて、**2部：災害時要援護者支援システム**について、10自治会町内会関係者の方々がパネラーとなってパネルディスカッションを展開しました。

各分科会とも発表者のわかりやすく丁寧な語り口と効果的に映し出されたパワーポイントの映像とで、参加者からは“活動内容が良くわかり皆さんの頑張りが伝わった”と感想が寄せられました。

また、昨年の311東日本大震災の体験から、大災害に備え日頃から地域の助け合いにより安否確認や避難支援の活動が行えるよう、援助が必要な方（災害時要援護者）への取組みを進めていくことの必要性が叫ばれています。



これをふまえ、2部では、各自治会町内会がどのような取組みをしているかを発表してもらいながら、今後のよりよいシステムづくりに反映できるよう貴重な意見交換がなされました。

住環境・住宅形態・住民の意識など多くの違いがみられるなかで、それぞれの地域が工夫しながら進めている状況は素晴らしいものでした。野村連合町内会会長が最後の講評で「この本郷中央地区は総じて取組みが進んでおり驚いている」「今後は把握した要支援の方々にどのような支援をしていくかが重要課題」とおっしゃいました。

・ ~ずっと住み続けたい街へ その秘訣とは~ ・

“だれが引き継いでもできるようなシステムづくりを続けていくこと”とパネラーの自治会長さんがお話をしていましたが、この言葉にこそヒントがあるのではと感じています。

変化し続ける社会情勢に注目しながら、これからも皆さんとともに身近な地域の福祉活動の拠点として、

ケアプラザは支えあい連絡会の活動を進めてまいりたいと思います。

今後とも地域パワーの活性化に、ご指導ご協力をお願いいたします。